

清志初男氏への取材(2020年長島愛生園にて)

展示を待つ《安眠を妨げる夢》  
(2015年スミソニアン・アメリカンアートミュージアム)

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



### 作品展示作家

& 紹介アートプロジェクト・アート施設(アイウエオ順)

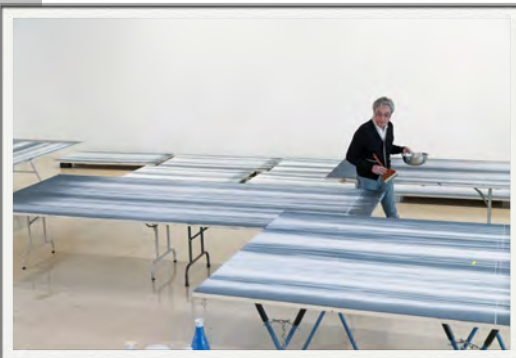
清志初男・国吉康雄・隈研吾・児島虎次郎・千住博  
田中憲一・福島隆壽

IWAI ART 保存修復研究所/岡山大学共育共創 commons 建設プロジェクト  
高野山金剛峯寺障屏画奉納記録プロジェクト/国吉康雄プロジェクト  
清志初男映像論文制作プロジェクト/熊本地震 田中憲一の画を救う会  
長島愛生園歴史館/ニューヨーク市立大学「UnHomelessNYC」展企画チーム



地震で倒壊したアトリエから田中憲一作品を救出する  
市民と震災ボランティア(2016年熊本県御船町)

田中憲一作品の公開修復を行う  
絵画保存修復家岩井希久子・貴愛親子  
(2019年御船町恐竜博物館)



高野山金剛峯寺障屏画  
《瀧図》制作中の千住博氏(2018年)



岡山大学  
共育共創 commons  
完成図(2021年)



ホームページ  
展覧会  
イベント情報



オンライン  
ツアー・講演  
配信視聴用



展覧会を  
補強する  
YouTube  
チャンネル

文化庁 令和2年度第3次補正予算事業  
ARTS for the future!  
コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動

## 入場・視聴無料

文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

2021年12月5日(日)~26日(日)

平日9:00~17:00 / 土日祝 10:00~18:00

12月9日・18日・19日は大学行事のため休館

# And Recovering Them

ARTと考えるSDGs

そして、

それらを回復する

岡山大学津島キャンパス特設会場 & オンラインツアー・イベント開催

第1会場：創立五十周年記念館交流スペース 第2会場：附属中央図書館2F ムラタアカデミア

第2会場では関連展示として「ハンセン病療養所入所者の「生きた証」—RIDC共同研究成果発表」展を開催

岡山県岡山市北区津島中1丁目1番1号 (現在、図書館には大学関係者以外の入館はできません)



企画・監修：岡山大学 国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生寄付講座  
主催：一般社団法人クニヨシパートナーズ  
制作：岡山大学教養教育課目 クリエイティスディレクター養成展開1・2受講生  
国吉康雄記念研究寄付講座受講生有志  
後援：岡山県 / 岡山市 / 岡山県教育委員会 / 岡山市教育委員会



わたしたちは「SDGs課題の解決」という目標を達成しなければならないほど逼迫した現代を生きています。そこで、岡山大学国吉康雄記念研究寄付講座では「SDGsという視点」で「既にある作品、表現、進行中のプロジェクト」を読み解く展覧会「And Recovering Them」そして、それらを回復する「展」を企画し、岡山大学内に、地域に開かれたコミュニティ・ミュージアムを期間限定で臨時設置することといたしました。

本展を企画した国吉康雄記念研究寄付講座は、2015年の設置以来、日系労働移民というマイノリティでありながら、アメリカを代表する洋画家のひとりとなった、国吉康雄(岡山市出身・1889-1953)の作品や人物に関わる研究と顕彰活動を、従来の美術研究の枠組みに捉われない手法で進めてまいりました。国吉康雄に関わる展覧会や様々なアートイベントを学生と共に企画し、地域と協働で仕掛けることで、学問領域を横断し、アートと社会の繋がりに関する様々なテーマや課題を発見し、発信し、活動を拡張してきました。本展では、国吉康雄記念研究寄付講座のこうした活動のなかに関わるようになったアート作品やアートプロジェクトを、人権や環境、地域コミュニティ、災害復興などをテーマに展示。作品とSDGs課題とをリンクし、考察するための場を、市民の教育・研究・医療・福祉を担う総合大学であり、SDGs推進大学である岡山大学に設置し、発信することで地域と世界に問い、共有したいと考えています。会場ではアート作品に加え、学問領域を横断する解説パネルと、国吉康雄や千住博に迫ったドキュメンタリー作品の上映と国吉康雄記念研究寄付講座の活動報告会も実施致します。

展示作品(一部)  
他、油彩画  
日本画、建築模型  
映像作品、写真など

国吉康雄(「パンダなつけた女」)  
福武コレクション蔵  
清志初男(無題(石仏))  
長島愛生園蔵  
田中憲一(扉)  
熊本地震・田中憲一の絵を救う会蔵  
児島虎次郎(室内)  
岡山大学蔵

関連展示

- ① 千住博奉納  
高野山金剛峯寺障屏画  
写真展示  
第1会場2F(創立50周年記念館)
- ② ハンセン病療養所入所者の  
「生きた証」  
RIDC共同研究成果発表
- ③ ART展 関連書籍展  
第2会場(中央図書館2F)

会場では、国吉型・対話探究モデルによる鑑賞ツアーやクラッシュ音楽演奏会  
オンラインでのギャラリーツアーの配信なども実施予定(詳しくは表面のQRコードへ)

文化庁「ARTS for the future !」補助対象事業

主催・製作 一般社団法人クニヨシパートナーズ  
企画・監修 岡山大学大学院教育学研究科《国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生寄付講座》  
制作 岡山大学教養教育課目「クリエイティヴ・ディレクター養成展開1・2 受講生」/ 国吉講座受講生有志  
ART展 スクキュレーション班 / 国吉型・対話探究モデル実践班 / クリエイティヴゲーム振興会  
後援 岡山県 / 岡山市 / 岡山県教育委員会 / 岡山市教育委員会  
特別協力  
(一社)アートネットワーク熊本みふね / IWAI ART 保存修復研究所 / (株)NHKエンタープライズ / (株)オフィス天野  
高野山真言宗総本山金剛峯寺 / 隈研吾建築都市設計事務所 / 千住スタジオ / 清水建設(株) / 長島愛生園歴史館  
日米芸術振興会 / 廃棄物対策豊島住民会議 / (公財)福武財団 / (公財)福武教育文化振興財団  
ヤマト運輸(株) / ベネッセホールディングス(株)  
ニューヨーク市立大学キングスバローク校企画  
From City to Country and Vice Versa The Transformative Power of Art and Community-Based Learning Pj.  
岡山大学  
教育学部 / 工学部 / 工学部創造工作センター部門 / 創立五十周年記念館 / 附属中央図書館 / 文明動態学研究所  
協力 岡山県立美術館 / (株)内外スロセス / (株)双葉店飾社

テーマ①「ecology」

天然素材の使用に拘った制作を行う日本画家・千住博の作品《瀧図(掛軸)》と「高野山金剛峯寺奉納障屏画」の特別映像を展示し、「循環する水資源」について考える

テーマ②「responsible」

隈研吾がデザインする、岡山大学「共有共創 commons」に込められた思想性を探究するため、隈の手による模型を展示。木造建築の革新と新たな生活様式について考える

テーマ③「community」

平成28年熊本地震で被災し、市民の草の根の活動によって修復された田中憲一の油彩画作品。その修復プロジェクトの過程を田中作品と共に展示し、「震災記憶と地域市民の考える文化の継承」を考える

テーマ④「humanity」

生涯を国立療養所長島愛生園で暮らした洋画家、清志初男が遺した油彩画作品に込められた歴史的・社会的背景と、長島愛生園が訴える「人間回復」という主題について考えるため、清志作品の傑作を公開する

テーマ⑤「education」

大原總一郎は岡山大学に児島虎次郎の油彩画《室内》を寄贈した。エッフェル塔を望む部屋で、和装の女性が机に向かって。この絵を贈った大原の真意はどこにあるのか。また、大学で長く、美術教員の指導にあたり、岡山の画壇を牽引した福島隆壽が岡山大学に寄贈した大作を展示し、芸術と教育について考える

テーマ⑥「rights movement」

日系移民一世であった国吉康雄は、二つの世界大戦と感染症パンデミック、世界恐慌、赤狩という激動の時代をニューヨークで生き、アメリカを代表する画家として成功する一方、権利運動と教育に心血を注いだ。国吉の画業と人生から、芸術の創造と人権の関係性について考える

国吉康雄記念研究寄付講座 2015 - 2021  
金光ホール(第一会場・創立五十周年記念館) 活動報告と映像・音声作品発表会

12月5日(日) 13:00 ~

報告「And Recovering Them」そして、それらを回復する展の企画と国吉康雄記念研究寄付講座の活動 / 伊藤駿(ART展プロデューサー・国吉康雄記念研究寄付講座助教) / 講演「国吉康雄が受けた明治美術教育」赤木里香子(岡山大学学術研究院教育学域教授) / 対談「ヤマト運輸と「福武コレクション」が投げた小さな一石 ~ 都市発の企画展のあり方を踏まえ、地方の芸術資源の活用を大学との協働で考える」山路弘(ヤマト運輸株式会社グローバルSCM事業本部) x 才土真司(ART展企画者・国吉康雄記念研究寄付講座准教授) / 映像作品上映会「千住博空海の宇宙を描く」+制作者トーク 他

12月11日(日) 17:00 ~

鼎談「わが国における国吉康雄研究の第一人者、小澤律子を囲む」小澤律子(旧国吉康雄美術館キュレーター)・奥村一郎(和歌山県立近代美術館)・才土真司 / ディスカッション「医療教育にアートは必要か ~」木股敬裕(岡山大学学術研究院医歯薬学域形成再建外科学講座教授)・小比賀美香子(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科総合内科学分野講師) / ディスカッション「アートとコミュニティ・ベースド・ラーニングの変革の力 ~ 『Un Homeless ニューヨーク・シティ』展制作の現場から」山村みどり(ニューヨーク市立大学キングスバローク校助教)・伊藤駿 他

12月12日(日) 11:00 ~

国吉康雄記念研究寄付講座制作映像作品上映会 / 「岡山大学共有共創 commons 建設プロジェクトの象徴するもの」上映+インタビュー 阿部匡伸(岡山大学DX推進担当理事・共有共創 commons 建設プロジェクト担当) / 映像インタビュー「国吉康雄がベネッセアートサイト直島の原点である理由」福武總一郎(公益財団法人福武財団理事長・瀬戸内国際芸術祭総合プロデューサー)

各プログラムの詳細、他の講演、映像作品タイトル等は国吉康雄プロジェクトのホームページへ

会場での感染症対策について

実施にご協力、ご理解を頂けない場合、鑑賞をご遠慮いただきます

- ① 入場時に検温を実施させていただきます
- ② 平熱より高い方、体調不良の方は入場頂けません
- ③ 鑑賞される皆様に、入場時にアルコール消毒をお願いします
- ④ 来場者カードへの記入(氏名・年齢・住所・電話番号)をお願いします
- ⑤ 混雑時は会場での鑑賞者数を制限させていただきます
- ⑥ マスクの着用(おもちでない場合は受付で提供します)をお願いします
- ⑦ 必要に応じてオンラインで会場の様子を配信します
- ⑧ 詳細は「国吉康雄プロジェクト」のホームページをご確認ください

<https://yasuo-kuniyoshi-pj.com>